

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいポケットまいづる		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 11日 ～ 2024年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との面談の中で様々な課題の聞き取りを行い、個別・集団療育の中で個々の目標に向けて支援を行っています。 全職員有資格者を配置している為、様々な観点から意見を出し合い、本人支援、家族支援に努めている。	幅広い年齢層や個々の特性があるお子様ではありますが、基本的な生活習慣の習得や他者との関わり方等、社会で必要な力を身につける事が出来るように支援しています。	年間教育研修計画をもとに研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。 各々の課題にあった療育課題を作成し、充実した療育が提供出来るように努めます。
2	近年ペーパーレス化が主流となってきたおり、当事業所もペーパーレス化に伴い、連絡帳アプリを導入しています。 日々の様子やお知らせ等は全てアプリでの発信を行い、保護者の方が手軽に確認でき、スムーズなやりとりが出来るようにしています。	利用日の様子を確認出来るように、その日の様子は連絡帳にて発信を行う。必要に応じて直接送迎時等で話させてもらっています。面談等の調整もアプリ内で出来るようにアンケートを活用して実施し、スムーズな調整が出来るように努めています。	日々の様子や療育内容等を定期的に発信し、保護者の方に利用の様子を知って頂けるように努めます。
3	今年度より社会参加活動を取り入れました。他部署で必要なゴミ箱の作成や食事箋を切って提供する。牛乳パックを回収し、はさみで開く、アルミ缶とスチール缶の仕分け等を行い、就労体験を実施しています。	社会参加活動の一環として、子供たちが取り組んだ活動の成果を買い取っていただいています。自分たちの頑張りが「お金」という形で評価されることで、達成感や自身にも繋がります、その成果をこどもたちに還元できる仕組みを大切にしています。	社会参加活動の内容の充実に努めます。 子どもたちの頑張りが継続的に形となるように、定期的に還元できる内容について検討し、取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の支援級のお子様の平日（学校日）の受け入れが難しくなっています。	地域の支援級はお迎え時間が学年によって様々であり、支援学校、支援級それぞれに送迎対応をする事が困難なことが要因としてあげられます。	土曜日にご利用して頂き、少しでも療育を受けて頂けるように検討する。
2	開設から間もないため、現在卒業生の実績が少なく、新規の受け入れにおいて調整が必要な状況です。	卒業生や退所等がなければ、なかなか新規の受け入れ枠が少なく難しい状態。	空き枠が出た際には新規の受け入れも検討していく。
3	正峰会グループに就労継続支援A型、就労継続支援B型の事業所はあるものの、舞鶴エリアにはないため、法人内での途切れない支援が出来ない。	正峰会グループに就労継続支援A型、就労継続支援B型の事業所がないことが要因。	途切れない支援をする為に卒業後の進路先への引き継ぎを強化する。